

	4月25日【土】	4月26日【日】	4月27日【月】	4月28日【火】	4月29日【水・祝】	4月30日【木】	5月1日【金】
12:20~	A	D	F	H	A	F	D
15:00~	F トーク①	C トーク②+ミニライブ	G	I	J トーク③+ミニライブ	I	E
18:00~	H	B	H	F	B	J	C
20:00~	G	E	E	C	G	C	H

	5月2日【土】	5月3日【日・祝】	5月4日【月・祝】	5月5日【火・祝】	5月6日【水・祝】	5月7日【木】	5月8日【金】
12:20~	J	G	C	C	E	J	A
15:00~	I	F	A	B トーク④	A	I	G
18:00~	E	H	B	H	F	D	B
20:00~	G	D	E	D	G	H	F

【上映作品】(全10プログラム24作品)

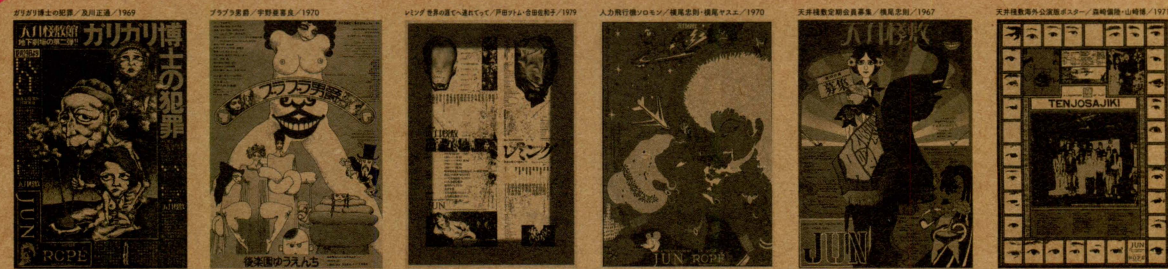
- A 『書を捨てよ町へ出よう』 2時間18分
- B 『田圃に死す』 1時間42分
- C 『さらば箱舟』 2時間7分
- D 『ボクサー』 1時間34分
- E 『上海異人娯楽』 1時間30分
- F 『草迷宮』ほか 1時間34分
- G 『草迷宮』40分 / 『迷宮譚』 15分
- H 『消しゴム』 20分 / 『一寸法師を記述する試み』 19分
- I 『実験映画集1』 1時間44分
- J 『青少年のための映画入門』 3分 / 『癩瘻譚』 31分
- K 『マルドロールの歌』 27分 / 『ローラ』 9分 / 『審判』 34分

- F 『実験映画集2』 1時間39分
- G 『権四』 11分 / 『トマトケチャップ皇帝』 27分
- H 『ジャンケン戦争』 12分 / 『蝶服記』 12分
- I 『書見機』 22分 / 『二頭女一影の映画』 15分
- J 『レミングー壁抜け男』 2時間49分
- K 寺山修司最後のインタビュー付
- L 『ピデオ・レター』ほか 2時間5分
- M 『ピデオ・レター』 75分 / 『空には本』 34分
- N 『あゝ、荒野』 16分

【スペシャルトーク&ミニライブ】

- 4月25日【土】 15時~トーク①  
一青窈 [歌手] × 星野博美 [作家・写真家]
- 4月26日【日】 15時~トーク②+ミニライブ  
天頭大介 [映画監督] × 三上寛 [歌手]
- 4月29日【水・祝】 15時~トーク③+ミニライブ  
森山大道 [写真家] × 清ようこ [歌手] × 町口寛 [アートディレクター] × 高橋ビエール [ギター]
- 5月5日【火・祝】 15時~トーク④  
宇野亜喜良 [イラストレーター] × 高泉淳子 [劇作家・役者]

※出演の場合は入場をお断りする場合があります。



寺山修司と天井棧敷◎全ポスター展

— 演劇実験室◎天井棧敷の宣伝美術の全貌 —  
2009年4月25日【土】→5月17日【日】 会期中無休  
ポスターハリスギャラリー 13:00~19:00 [最終日17:00まで]  
入場料: 300円  
TEL.080-2023-0499 www.posterharis.com



企画制作: ポスターハリス・カンパニー、テラヤマ・ワールド、入力飛行機堂



映像の魔術師

寺山修司のシニールでアヴァンギャルドな映像作品

寺山修司

映像詩展

2009

4.25【土】→5.8【金】

12:20~ 15:00~ 18:00~ 20:00~

お問い合わせ

ユーロスペース  
TEL.03-3461-0211  
www.eurospace.co.jp/

ポスターハリス・カンパニー  
TEL.03-5456-9160  
www.posterharis.com/

- 豪華ゲストによるスペシャルトーク&ミニライブ開催!
- 【前売】  
1回券 1500円  
3回券 3900円  
フリーパス 10000円  
限定100枚  
ユーロスペースのみ販売
- 【当日】  
一般 1700円  
大学・専門学校生 1400円  
シニア・会員 1200円  
高校生 800円  
中学生 500円  
当日3回券 4500円

※びあミニシアター回数券もお使いになれます

【特典】「寺山修司◎映像詩展2009」入場券で、  
寺山修司と天井棧敷◎全ポスター展  
2009年4月25日【土】→5月17日【日】 ポスターハリスギャラリーを1回のみ無料。

www.eurospace.co.jp/  
http://posterharis.com

常に実験精神に溢れ、最後まで

最後までアヴァンギャルドであり続けた寺山修司!

24

本を一挙上映!

『書を捨てよ町へ出よう』『田圃に死す』『さらば箱舟』『ボクサー』『上海異人娯楽』『草迷宮』『迷宮譚』『消しゴム』『一寸法師を記述する試み』『青少年のための映画入門』『実験映画集1』『実験映画集2』『権四』『トマトケチャップ皇帝』『ジャンケン戦争』『蝶服記』『書見機』『レミングー壁抜け男』『ピデオ・レター』『空には本』『あゝ、荒野』

# 寺山修司 映像詩展 2009

2009年は、天井機数を主宰していた寺山修司の27回忌を迎えます。  
 今回、テラヤマ・ワールドでは、「TERAYAMA WORLD 2009 IN SHIBUYA」として、  
 寺山修司の長編、実験映画、関連作品24本を網羅した「寺山修司●映像詩展2009」を開催します。  
 寺山の魅力のひとつに、一瞬のうちに虚にされてしまう幻想的でカルトな映像作品が多数あります。  
 1960年に作られた「猫学Catlogy」以来、寺山修司の実験映画は、  
 そのどれもが「映画は世界を網膜の中に焼きつけるのではなく、網膜から「世界をひきずり出す」のである」と宣言する、  
 独特の危険な仕掛けに満ちています。  
 また、「書を捨てよ町へ出よう」のラストで、何も映っていない白味のフィルムを映写し、  
 「われわれの作る部分は終わったのだから、このあとは観客である諸君に作ってもらいたい」と投げかけた問いに対して、  
 現在の観客に答えは出せるのだろうか？  
 「ローラ」では客席から立ち上がった男が実際にスクリーンに飛び込み、  
 「審判」では、観客の打ち込む釘で埋め尽くされるスクリーン。  
 寺山はたえずスクリーンの意味を問い、その映像は観客を挑発しつづけます。  
 幻想とエロチシズムに満ちた映像作品「イメージの錬金術」虚構と現実の地平線に築き上げられた  
 寺山修司の灼熱たる王国…寺山修司の全貌を一挙上映いたします！！  
 また、豪華ゲストによる、トーク、ミニライブで寺山の魅力にも迫ります。

A

## 『書を捨てよ町へ出よう』



1971年作品 / 日本A-T-G / カラー / 2時間18分  
 ●サンレモ映画祭グランプリ  
 製作・脚本・監督：寺山修司 / 撮影：鎌田正義 / 音楽：下田逸郎、  
 クニ河内、J・A・シーザー他 / 編集：浦岡徹一 / 出演：佐々木英  
 明、斎藤正治、新高恵子  
 つねに時代を挑発する  
 “家出”の思想家、寺山初の長編映画。

B

## 『田園に死す』



1974年作品 / 日本A-T-G / カラー / 1時間42分  
 ●カンヌ映画祭正式招待 ●ベナルマデナ映画祭審査員特別賞  
 ●パース映画祭招待 ●芸術祭奨励新人賞 ●文部省芸術選賞  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：鈴木達夫 / 音楽：J・A・シーザー  
 / 美術：栗津潔 / 録音：木村勝英 / 編集：山田早智子 / 意匠：  
 花輪和 / 出演：八千草薫、春川ますみ、新高恵子、高野浩幸、  
 菅寛太郎、原田芳雄、三上寛、木村功、ミスター・ポーン、蘭妖子、  
 小野正子、斎藤正治、原泉  
 恐山を舞台に、自歌集「田園に死す」にもとづいた自伝的作品。

C

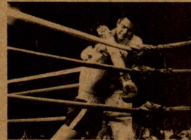
## 『さらば箱舟』



1984年作品 / 日本A-T-G / カラー / 2時間7分  
 ●芸術祭大賞 ●カンヌ映画祭正式招待  
 脚本：寺山修司、岸田理生 / 監督：寺山修司 / 撮影：鈴木達夫 /  
 音楽：J・A・シーザー / 録音：木村勝英 / 照明：海野義雄 / 美術：  
 池谷仙克 / 装束：合田佐和子 / 衣裳：山田勇男 / 美粧：川辺サチ  
 コ / 編集：山田早智子 / 製作：砂丘不二夫、九條今日子、佐々木  
 史朗 / 出演：小川真由美、原田芳雄、新高恵子、高橋洋子、高  
 橋ひとみ、石橋蓮司、若松武、天本英世、蘭妖子、サルバドール・タ  
 リ、根本豊、福士憲二、牧野公昭、三上博史、大林真由美、日野利  
 彦、江幡高志、小松方正、宮口精二、斎藤正治、松田政男、山崎努  
 マルケスの「百年の孤独」をテキストに、  
 虚構の歴史を描いた一大叙事詩。寺山修司の遺作。

D

## 『ボクサー』



1977年作品 / 東映 / カラー / 1時間34分  
 監督：寺山修司 / 脚本：石森史郎、岸田理生、寺山修司 / 撮影：  
 鈴木達夫 / 音楽：J・A・シーザー / 美術：森名忠之 / 出演：菅原  
 文太、清水健太郎、春川ますみ、新高恵子、地引かつさ  
 寺山のボクシングへの思い入れを描いた、  
 初のエンターテインメント作品。

E

## 『上海異人娼館』



1981年作品 / 東宝東和(仏映画) / カラー / 1時間30分  
 ●カンヌ映画祭特別上映  
 脚本・監督：寺山修司 / 原作：ポーリーヌ・レージュ / 撮影：鈴  
 木達夫 / 音楽：J・A・シーザー / 衣裳：カイジツク・ウォン / 装束：  
 合田佐和子 / 編集：アンリ・コルビ / 製作：アナトール・ドールマ  
 ン / 出演：イザベル・イレエ、クラウス・キンスキ、アリエル・ド  
 ンバル、ピーター、新高恵子、中村研一、山口小夜子、高橋ひとみ  
 ヨーロッパ的官能の世界を東洋の洗練された感性で描き、  
 国際的評価を得た作品。

F

## 『草迷宮』ほか



## 『草迷宮』

1979年作品 / カラー / 仏映画 / 40分  
 原作：泉鏡花「草迷宮」より / 監督：寺山修司 / 脚本：寺山修  
 司、岸田理生 / 撮影：鈴木達夫 / 音楽：J・A・シーザー / 美術：  
 山田勇男 / 挿曲：花輪和 / 助監督：相模慎二 / 製作：ピエー  
 ル・プロンベルジュ / コーディネーター：ヒロコ・ゴッファス / 製作  
 担当：九條今日子 / 出演：三上博史、若松武、新高けい子、伊  
 丹十三、演劇実験室●天井機数  
 泉鏡花の短編小説を原作に、死んだ母親の  
 ローズさんでいた手紙をさがして旅をする少年の物語。  
 寺山映像美の最高峰。三上博史、衝撃のデビュー作。

G

## 『迷宮譚』



1975年作品 / モノクロ調 / 15分  
 ●オーバーハウゼン実験映画祭銀賞 ●カンヌ映画祭監督週間招待  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：福元文一 / 音楽：田中未知 / 編  
 集：大島ともよ / 助監督：森崎偏隆、浅井隆 / 出演：新高恵子、  
 蘭妖子、佐々木季司、大野進、田井中浪子、小竹信節  
 「カメラ万葉集、陰もびっくり」「スクリーン＝ドア」論を主張する映画。

H

## 『消しゴム』



1977年作品 / カラー / 22分  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：鈴木達夫 / 撮影助手：栗田豊通、  
 伊藤昭裕 / 音楽：J・A・シーザー / 編集：池田幸子 / ビデオ・オ  
 ペレーター：堀池冬樹 / 出演：藤野節子、若松武、蘭妖子、渡辺  
 直美、田中恵  
 消しゴムで消すことのできる映像の試み。

I

## 『一寸法師を記述する試み』



1977年作品 / カラー / 19分  
 脚本・監督：寺山修司 / 脚本：岸田理生 / 撮影：鈴木達夫 / 音  
 楽：J・A・シーザー / 美粧：蘭妖子 / ビデオ・オペレーター：堀池  
 冬樹 / 出演：日野利彦、矢口桃、篠崎尚  
 イメージした女優の肉体を  
 一寸法師が縛りあげ、削り、穴をあける。

J

## 『青少年のための映画入門』



1974年作品 / モノクロ / 3分  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：萩原明美 / 選曲：寺山修司 / 製  
 作：九條今日子 / 出演：森崎偏隆、斎藤正治、佐々木季司、A.V.サ  
 キノフ  
 「100Feet Film Festival」に出品された  
 3台の映写機による3分間映画。

K

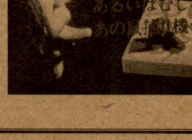
## 『疱瘡譚』



1975年作品 / カラー / 31分  
 ●ベルリン映画祭特別上映 ●ベナルマデナ映画祭特別賞  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：鈴木達夫 / 音楽：田中未知 / 助  
 監督：森崎偏隆、浅井隆 / 出演：新高恵子、若松武、小野正子、  
 中沢清、蘭妖子、徳野雅仁、小竹信節  
 イメージが疫病のように伝染していく、初めてビデオ合成を試みる。

L

## 『マルドロールの歌』



1977年作品 / カラー / 30分 ●リール国際映画祭国際批評家賞  
 脚本・監督：寺山修司 (ローレアモン「マルドロールの歌」によ  
 る) / 撮影：鈴木達夫 / 音楽：鈴木昭男 / 製作：小西昭典 / 照  
 明：磯貝重夫 / 出演：新高恵子、蘭妖子、矢口桃、大野進  
 ロートレアモン「マルドロールの歌」を映像の翻訳、  
 読む映像の試み。



寺山修司

1935年青森生まれ。詩人、劇作家、演出家、映画監督。67年「演劇実験室●天井機数」を設立。世界屈指の前衛劇団として国際的に活躍。代表的舞台に「毛皮のマリー」「妖神譚」「レミング」。映画監督としても「書を捨てよ町へ出よう」「田園に死す」他、実験映画も次々に発表。83年、47歳で急逝。寺山の死を境に、日本の前衛演劇は終焉したとされている。  
 2009年は、寺山修司27回忌記念として、演劇上演、映画祭、出版、展覧会など、寺山の多才な活動を振り返るイベントが、開催される。

●寺山修司27回忌記念として、寺山修司と天井機数の関連商品を特別限定販売します。

1983年の急逝から早くも26年。昨年の没後25年には、過去最大規模の展覧会「寺山修司●劇場美術館」(テラヤマ・ワールド企画)を、青森県立美術館、郡山市立美術館にて巡回。10月には、スイスのローザンヌでの寺山修司映画特集。11月24日には1998年に青森市を震撼させた「市外劇・人飛行機ソロモン」を10年ぶりに松山にて上演。嵐の中のクライマックスは日本全国や海外からの寺山ファンを興奮させた。遺作映画「さらば箱舟」のラストシーンで、「百年たつたら、その意味わかる」と書いた寺山だが、中高生の現代国語にも寺山の「俳句・短歌」が多数掲載され教科書から寺山ファンになる若者も多い時代となった。  
 2009年も、「寺山修司フェア」角川文庫が2月25日からスタートし、寺山修司著作集全5巻が刊行中(1月15日から毎月15日発行予定)、4月から6月には、美輪明宏 / 演出・主演の舞台「毛皮のマリー」が、ルテアトル銀座から全国巡回。国内外から戯曲の上演許可や映画祭のオファーなど、寺山修司の関連企画は、日本全国から世界規模で毎年開催されています。

1979年春に肝硬変と診断されるが、  
 本人に知らされたのは1981年の1月だった。  
 その間、そしてその後、入院をくり返しながら、  
 演劇、映画、著作と、  
 表現活動の速度は変わることもなく続けた。  
 一つ一つの作品に  
 命が賭けられていたと言えるだろう。  
 映画の撮影現場、  
 演劇公演の稽古場には、  
 かならず寝椅子が置かれた。  
 1982年の「レミング」公演を最後に  
 演劇、映画活動に終止符を打ち  
 著作活動のみにしぼることを決意した。  
 だがしかし、それもついに実現しないままに終わった。  
 映画「さらば箱舟」は寺山修司の遺言として誰の目にも映った。

# 作品解説

M

## 『ローラ』



1974年作品 / カラー / 12分  
 ●ベルリン映画祭特別上映 ●ベナルマデナ映画祭特別賞  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：鈴木達夫 / 音楽：田中未知 / 衣  
 装：蘭妖子 / 助監督：森崎偏隆 / 製作：鶴岡正英 / 出演：小野  
 正子、蘭妖子、有栖川志穂子 (森崎偏隆)  
 映画館の客席からスクリーンのなかへ  
 “入りで映る映画”。

N

## 『審判』



1975年作品 / カラー / 20分  
 ●ベルリン映画祭特別上映 ●ベナルマデナ映画祭特別賞  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：福元文一 / 音楽：J・A・シーザー  
 / 編集：大島ともよ / 製作：九條今日子、田中未知 / 出演：新高恵  
 子、大野進、蘭妖子、パンチョ・目黒、矢口桃  
 釘で刺されたイメージの釘書機。全。  
 観客によってスクリーンは釘の壁と化す。

O

## 『檻囚』



1962年作品 / モノクロ調 / 12分  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：立木義浩 / 音楽：J・A・シーザー  
 / 編集：萩原明美 / 共同演出：竹内健 / 出演：ミスター・日本、立  
 木義浩、大山デブコ、竹内健、石原祐子  
 撮影から2年後に編集された処女作。  
 フィルムによるイメージのコラージュ。

P

## 『トマトケチャップ皇帝』



1971年作品 / モノクロ調 / 25分  
 ●ローロ映画祭審査員特別賞 ●カンヌ映画祭監督週間招待  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：沢渡朔 / 選曲：寺山修司 / 編集：  
 白井高潮 / 製作：田中未知 / 出演：新高恵子、アポロ太郎、樺マ  
 ヤ、小野正子、出前持四郎、網走五郎、100人の子供たち  
 “子どもによる子どものための  
 子ども空想のユートピア”をつくる試み。

Q

## 『ジャンケン戦争』



1971年作品 / モノクロ調 / 15分  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：沢渡朔 / 選曲：寺山修司 / 編集：  
 白井高潮 / 助監督：川喜多清正 / 製作：田中未知 / 出演：サル  
 バドール・タリ、根本光史  
 「トマトケチャップ皇帝」のなかの  
 “ジャンケン”部分を独立させた作品。

R

## 『蝶服記』



1974年作品 / カラー / 15分  
 ●カンヌ映画祭監督週間招待  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：鈴木達夫 / 音楽：田中未知 / 編  
 集：大島ともよ / 制作：鶴岡正英 / 出演：新高恵子、斎藤正治、  
 蘭妖子、佐々木季司、サルバドール・タリ、大野進  
 映写機とスクリーンの間を  
 “ささざる”目隠しされた映画。

S

## 『書見機』



1977年作品 / モノクロ調 / 22分  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：福元文一 / 音楽：J・A・シーザー  
 / 編集：池田幸子 / 出演：新高恵子、サルバドール・タリ、大野進、  
 矢口桃、日野利彦、若松武、末次重夫、カトリヌ  
 「レモン・ルーセルを読む機械」に触発され、  
 目と書物の距離を検証する。

T

## 『二頭女一影の映画』



1977年作品 / モノクロ調 / 15分  
 ●ベルリン映画祭特別上映 ●ベナルマデナ映画祭特別賞  
 脚本・監督：寺山修司 / 撮影：鈴木達夫 / 音楽：J・A・シーザー  
 / 美粧：蘭妖子 / 助監督：森崎偏隆 / 編集：池田幸子 / 製作：  
 九條今日子 / 出演：新高恵子、パンチョ・目黒、中山孝子  
 影によって影を具現化した批評する。  
 不在の痕跡である影が実体と入れ替わる。

U

## 『レミング一壁抜け男』



1983年5月15日横浜市教育文化ホールで収録 / 2時間49分  
 同時上映：『寺山修司・最後のインタビュー』NHK-ETV8で1983年5月29日放送  
 『インタビュー』九條今日子 / NHK-BS2で1997年4月24日放送  
 作・演出：寺山修司 / 共同演出：音楽J・A・シーザー / 美術・美  
 粧・衣裳：小竹信節 / 共同脚本：岸田理生 / 照明：田中未知 /  
 音楽：森崎偏隆 / 舞台監督：浅井隆 / 制作：九條今日子、小沢  
 洋子 / 出演：新高けい子、蘭妖子、サルバドール・タリ、根本豊、  
 若松武、演劇実験室●天井機数  
 演劇実験室●天井機数の最終公演、  
 現代人の内面的問題を「壁の消失」に見ながら、  
 ジュールに展開してゆく世紀末の夢のまた夢の世界。  
 寺山修司の最後のインタビューも必見。

V

## 『ビデオ・レター』



1983年作品 / カラー / 74分 / ビデオ作品  
 出演：寺山修司、谷川俊太郎、田中未知、高橋ひとみ、森崎偏隆、  
 寺山イツ  
 寺山修司の死の前年(1982年)、  
 三十年來の知己である二人の詩人は、  
 ビデオ映像による“往復書簡”を始めた。  
 身辺雑記的なものから時には非日常的なものまで、  
 様々な映像を通じて、“私とは何か”“意味と無意味”といった  
 テーマを語り合って「16通」に及んだ。  
 最後は、寺山の死の直後、  
 谷川からの宛先のない「1通」によって終わる。  
 ビデオ全盛前夜につくられ、  
 映像表現の可能性に挑んだ記念碑的作品で、  
 寺山修司の貴重な映像と語りを含む作品。

W

## 『空には本』



2008年作品 / カラー / 34分 / DVD作品  
 撮影・編集：寺山偏隆 / 朗読：三上博史 / 音楽：三上博史、エ  
 ミ・エレンノール、横山英規 / 音楽協力：塚越隆史、STUDIO MECH、  
 ディグ・カンパニー / 編集協力：高橋守、小西昭典、K2ファクトリ  
 ー、ポスター・ハリス・カンパニー / 製作：テラヤマ・ワールド  
 「寺山修司・劇場美術館1935〜2008」で製作された、  
 寺山修司の俳句・短歌・詩の傑作を、  
 文字とイメージの映像を背景に  
 三上博史が朗読した作品。音楽も三上のオリジナル作品。

X

## 『あゝ、荒野』



2006年作品 / 16分 / DVD作品  
 構成・編集：町口寛 / 短歌：寺山修司 / 写真：森山大道  
 2005年に、リニューアルして出版された  
 寺山修司の長編小説「あゝ、荒野」に挿入された  
 森山大道の211枚の写真と  
 寺山修司の短歌で構成された作品。